

8/1-8/7 聖書日課と分かち合い

8月1日(月) ローマ 13:12 闇の行いを脱ぎ捨てて光の武具を身に着ける

夜は更け、日は近づいた。だから、闇の行いを脱ぎ捨てて光の武具を身に着けましょう。

夜が更けていくと朝は近くなりますが、その直前は最も闇の濃い時です。不信仰と不道徳と言う深い闇の中に生きている今、曙(救いの完成)の近いことを自覚しなければなりません。《闇の行い》である不信仰と不道徳(酩酊や好色、争いや嫉み等)の生活をすっかり脱ぎ捨てて、《光の武具》である信仰と愛(憐れみの心、慈愛、謙虚、柔和、寛容、赦し合うこと)を身に付けて生きる様にと、終末のキリスト者の生き方が問われています。

8月2日(火) イザヤ 11:4~5 正義を腰の帯とする

4 弱い人のために正当な裁きを行い

この地の貧しい人を公平に弁護する。

その口の鞭をもって地を打ち

唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。

5 正義をその腰の帯とし

真実をその身に帯びる。

弱い人(権利を奪われた無力な者)、貧しい者(搾取され苦しめられている者)どちらも社会的な無力さに焦点があたっていますが、現代も日本中に、世界中にその様な方々が大勢おられます。主の霊を受けたその人は、弱い人を不当な苦しみから救います。神の霊に動かされたその人は貧しい人々を公平に弁護します。そのお方はイエス・キリストです。紀元前8世紀にエルサレムで活動したイザヤの書にしっかりとイエス様のお誕生が預言されています。

8月3日(水) イザヤ 52:7 いかにも美しいことか、良い知らせを伝える者の足は

いかにも美しいことか

山々を歩き巡り、良い知らせを伝える者の足は。

彼は平和を告げ、恵みの良い知らせを伝え

救いを告げ

あなたの神は王となられた、と

シオンに向かって呼ばれる。

当時ユダヤ人は土地を失い、財産も奪われ、バビロンにおいて捕囚生活を強いられていました。彼らが主なる神に逆らい、偶像を拝み、悪を行っていたからです。しかし主はご自分の怒りを取り除いて、彼らの罪を赦し、バビロンを解放し、エルサレムを元に戻すと約束されました。どんなに嬉しい知らせでしょう！私たちの罪の赦しの宣告も神さまが苦悩の内にイエス様を身代わりにして下さったが故に成就した大きな福音です。感謝致します。

8月4日(木) 詩篇 18:31 主は盾となつてくださる

神の道は完全

主の仰せは火で練り清められている。

すべて御もとに身を寄せる人に

主は盾となつてくださる。

主の御言葉は金や銀のように、火で洗練されても耐える純粋性を持っています。主の御言葉に身を寄せる人全てを盾となつて守って下さる。力強い賛美と信仰告白を詩人は語ります。32節に「主のほかに神はいない。神のほかに我らの岩は無い。」と告白します。嵐に出会っても、岩陰や岩穴に身を寄せれば激しい風雨からも逃れることができます。人生の海の嵐に出会っても、堅固なイエス様の御元に身を寄せれば守っていただける幸いを感謝します。

8月5日(金) 箴言 26:18~19 分別を失った者が矢を射ようとも

18 分別を失った者が、火矢を、死の矢を射る。

19 友人を欺く者はそれに等しい。

しかも、「ふざけただけではないか」と言う。

当時ユダヤ人は土地を失い、財産も奪われ、バビロンにおいて捕囚生活を強いられていました。彼らが主なる神に逆らい、偶像を拝み、悪を行っていたからです。しかし主はご自分の怒りを取り除いて、彼らの罪を赦し、バビロンを解放し、エルサレムを元に戻すと約束されました。どんなに嬉しい知らせでしょう！私たちの罪の赦しの宣告も神さまが苦悩の内にイエス様を身代わりにして下さったが故に成就した大きな福音です。感謝致します。

8月6日(土) イザヤ 59:17 救いを兜としてかぶり

主は恵みの御業を鎧としてまとい

救いを兜としてかぶり、報復を衣としてまとい

熱情を上着として身を包まれた。

主ご自身が人々に救いをもたらすものになって下さった。(16節) 義を鎧のように着て、救いの兜を被り、復讐の衣を身にまとい、情熱の上着を着て戦士として救いの為に戦って下さると比喩的に表現されています。裁き主としての神だけでなく贖い主としての神です。ご自分の御腕で神と人との障壁を取り除き(16節)罪を悔い改める者の所に来て下さる(20節)とあります。日々悔い改めて主に立ち返り、主の愛に頼る者を憐れんでくださることを感謝いたします。

8月7日(日) エフェソ 6:10~20 神の武具を身に着けなさい

10 最後に言う。主に依り頼み、その偉大な力によって強くなりなさい。11 悪魔の策略に対抗して立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。12 わたしたちの戦いは、血肉を相手にするものではなく、支配と権威、暗闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊を相手にするものなのです。13 だから、邪悪な日によく抵抗し、すべてを成し遂げて、しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。14 立って、真理を帯として腰に締め、正義を胸当てとして着け、15 平和の福音を告げる準備を履物としなさい。16 なおその上に、信仰を盾として取りなさい。それによって、悪い者の放つ火の矢をことごとく消すことができます。17 また、救いを兜としてかぶり、霊の剣、すなわち神の言葉を取りなさい。18 どのような時にも、“霊”に助けられて祈り、願い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まして根気よく祈り続けなさい。19 また、わたしが適切な言葉を用いて話し、福音の神秘を大胆に示すことができるように、わたしのためにも祈ってください。20 わたしはこの福音の使者として鎖につながれていますが、それでも、語るべきことは大胆に話せるように、祈ってください。

パウロは主により頼んで偉大な力によって強くなるように、又毎日襲来する苦難や試練の時にしっかり立つことが出来るように神の武具を身につけることを勧めます。「真理の帯」「正義の胸当て」「平和の福音を告げる靴」「信仰の盾」「救いの兜」「み言葉の剣」多くの信仰の先輩がこの様にして悪魔の策略と戦ってきました。「あなたがたには世には苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。」勝利の主を信頼して歩んでまいりましょう！

(担当 : K.W.)



